

# 大阪府大阪市都心部方言の否定の表現

鍋木 昌博

## I. はじめに

- (1) 調査対象地：大阪府中央区久宝寺町。同町は市内中心部の商業地域で、船場の東約1キロにある。
- (2) 調査年月日：1995年1月16日（月）午後2時～4時
- (3) 話者：氏家由紀子 昭和3年1月27日生（66歳）・主婦
- (4) 調査者・調査場所：鍋木昌博、話者宅
- (5) 調査方法：統一調査票による質問調査
- (6) その他：アクセント表記は、声の上がり下がり、「<sup>↑</sup>」で表す。なお、「<sup>↓</sup>」はいわゆる拍内下降を表す。

## II. 調査結果

### I 動作・作用の否定表現

1. 行かない ○ ア「メ<sup>↑</sup> フリ「ソ<sup>↑</sup>ーヤカラ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ 「イ」ケヘン。
2. 降らないよ ○ キョ「ー」ワ ア「メ<sup>↑</sup> フ「レ」ヘン」ヤロ。
3. 行きません ○ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ {①「イキマヘン」ネン。②「イ」カ 「シマヘン。(古) }  
\*①の方が普通の言い方。「ネン」をつけると柔らかい感じがする。
4. 行きはしない ○ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ {①「イ」ケヘン。②「イカン。(稀) }  
\*しいて強めるとすれば②の言い方になるが、あまり言わない。(特に女性)
5. いらっしゃらない ○ 「セ」ンセーワ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ 「イキハ」レヘン。
6. 行かなかった ○ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ 「イ」ケヘ「ン」カッタ。
7. 行きはしなかった ○ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ 「イ」ケヘ「ン」カッ「テ」ン。  
\*6と7はそれ程使い分けられていないようだが、「～カッタ」よりも「カッテン」の方が強めた言い方のように思われる。
8. 行くまい ○ ア「メ」フリ「ソ」ーヤサカイ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ 「イカントコ。
9. 出まい ○ ア「メ」フリ「ソ」ーヤサカイ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ デヤント「コ。
10. すまい ○ キョ「ー」ワ ナン「ニ」モ 「セントコ。

11. 降らないだろう ○ キョ「ー」ワ 「タ」ブン ア「メ」フ「レ」ヘ「ン」ヤ  
ロ。
12. 降るにちがいない ○ 「アシタワ キット ア「メ」 {①「フ」ル「ヤ」ロ。②「  
フ」ル「ン」ト「チャウ カ。」}
13. 来ない ○ キョ「ー」ワ ダ「レ」モ 「ケ」ーヘン。
14. 来はしない ○ キョ「ー」ワ ダ「レ」モ 「ケ」ーヘン。  
\* 13と14は使い分けられていないように思われる。
15. 来なかった ○ キョ「ー」ワ ダ「レ」モ 「ケ」ーヘ「ン」カッタ。
16. 見ない(～見かけない) ○ キョ「ー」ワ ダ「レ」モ 「ミ」ーヒン。
17. 居ない ○ キョ「ー」ワ ダ「レ」モ 「イテ」ヘン。
18. 行かずに ○ キョ「ー」ワ ドッ「コ」モ 「イカ」ント 「ウ」チニ 「イテ  
ル。
19. 行かなくても ○ 「ワザワザ イカ」ンデ「モ エ」ー。
20. 行かなければ ○ 「ワザワザ {①イカ」ナ」ンダラ 「ヨ」カッタ。(老) ②イカ  
」ンデモ 「ヨ」カッタ。③イ「ケ」ヘ「ン」カッ「タ」ラ「ヨ」  
カッタ。(若) }  
\* (①②は言うが、③は若い人の言い方)との説明があった。
21. 行かねば ○ ドーシ「テ」モ {①「イカ」ナ 「ア」カン。②「イカ」ント 「ア  
カン。}
22. 行かねばならない ○ ドーシ「テ」モ 「イカ」ン「ナ」ラン。と言うことがあ  
る。
23. ～ズ(ヤ・ジャ・ダ) ○ キョ「ー」ワ ドコ「エ」モ 「イカ」ズヤ。と言う  
ことがある。
24. ～行きもせず、～来もしない ○ コッ「チ」カラ 「イキ」モ 「セ」ーヘ「ン  
」シ 「キ」モ 「セ」ーヘン。
25. 行くか行かないかわからない ○ 「アシタ」モ {①「イク」ヤ 「イカン」ヤ  
「ワカ」レヘン。②「イク」カ 「イ」ケヘ「ン  
」カ「ワカ」レヘン。}

## II 存在・状態・判断の否定表現

26. 無い ○ コン「ダ」ケシカ {①ナ「イ。②ア「レ」ヘン。}
27. 無い ○ 「コトシミ」タイニ 「ア」ツイ ト」シワ {①ナイ 「ネ」ー。②ア  
「レ」ヘン 「ナ」ー。}
28. ありはしない ○ 「コトシミ」タイニ 「ア」ツイ ト」シワ ア「レ」ヘン 「  
ナ」ー。

\*27に比べて強めの意識はない。「ナイ」も「アレヘン」もほぼ同じように使われる。

29. 無かった ○「コトシミ」タイニ 「ア」ツイ ト」シワ 「ナ」カッタ ナ」ー。
30. ありはしなかった ○「コトシミ」タイニ 「ア」ツイ ト」シワ ア「レ」ヘン  
カッタ 「ナ」ー。
31. 無いだろう ○「コトシミ」タイニ 「ア」ツイ ト」シワ {①ナ「イ」ヤロ。  
②ア「レ」ヘンヤロ。③ア「レ」ヘンノト 「チャウ カ。}
32. 無ければ ○「ア」ツイ ナ」ツナンカ 「ナ」カッタラ エ「ー」ノニ。
33. 暑くない ○ キョ「ー」ワ 「アンマシ (アンマリとも) {①「ア」ツ」ナイ。  
②ア」ツイ コト ナ「イ。}
34. 暑くはない ○ キョ「ー」ワ 「アンマシ ア」ツイ コト ナ「イ。
35. 暑くなかった ○ キョ「ー」ワ 「アンマシ {①ア」ツイ コト ナ」カッタ。  
②アツ「ナ」カッタ。}
36. 暑くはなかった ○ キョ「ー」ワ 「アンマシ ア」ツイ コト ナ」カッタ。  
\*「アツナイ」と「アツイコトナイ」はほぼ同義に使われている  
ようである。
37. 暑くないだろう ○「アシタ」モ ア「ツ」ナ「イ」ヤロ。
38. 涼しくない ○ キョ「ー」ワ 「アンマシ {①スズシ」ナイ 「ナ」ー。②ス  
ズ」シイ コト ナイ 「ナ」ー。}
39. にぎやかでない ○「アンマシ {①ニギヤ」カ 「チャウ。②ニギヤ」カト 「  
チャウ。③ニギヤ」カヤ ナ「イ。(稀)}
40. にぎやかではない ○「アンマシ {①ニギヤ」カト 「チャウ。②ニギヤ」カヤ  
ナ「イ。《提示》(稀)}
41. にぎやかでなかった ○「アンマシ ニギヤ」カ 「チャウ」カッタ。
42. にぎやかではなかった ○「アンマシ ニギヤ」カナ コト 「ナ」カッタ。
43. にぎやかではなからう ○ モー 「マ」エミ」タイニ 「ニギヤ」カ 「チャウ  
」ヤロ。
44. 花ではない ○「アレワ ハ」ナト 「チャウ。

### Ⅲ 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

45. だめだ(不可) ○ ナンボ 「ヤッ」テモ 「アカン。
46. だめな(不可) ○「アイツワ {①アカン ヤッ」チャ。(憶病な奴) ②「ショ  
ー「モ」ナイ 「ヤッ」チャ。(悪いことを繰り返すような奴)}
47. つまらない(不可) ○① ショー「モ」ナイ コト 「ユー」ナ。②「クダラ  
ン コ」ト～

48. いけない (禁止)      ○ 「ソナ ト」コ 「イッ」タラ 「アカン。
49. 行カレン (禁止)      言わない
50. 行くな (禁止)      ○ 「ソナ ト」コ {①「イカントキ。(小さい子供に対して)  
②「イッ」タラ 「アカン。(ややきつい感じ) ③「イキ」  
ナ。(きつい感じ)}
51. するな (禁止)      ○ 「イタズラ {①シ」ナ。(多) ②ス」ナ。(きつい) ③ス  
ン」ナ(若い人が言うのを聞く)}
52. 行くもんじゃない      ○ 「ソナ ト」コ {①「イクモ」ンヤ ナ」イ。②「イカ  
ン ホ」ーガ エ」ー。《提示》
53. たまらない      ○ ア「ツ」ーテ 「タマ」ラン。(「タマラン。も)
54. しかたがない      ○ ア「メ」 「ヤム」ノン マッ「テ」テモ 「シャー」ナイ。
55. 楽ではない      ○ ト「ー」クマデ アル「ク」ンワ 「ラ」ク 「チャウ。
56. 歩きたくない      ○ ト「ー」クマデ アルキ「タ」ナ「イ。
57. 大丈夫だ      ○ 「シンバイセンデ」モ 「ダイジョ」ーブヤ。

#### IV 否定の応答表現

58. いや      ○ イ「ヤ。
59. いや (強い否定)      ○ イー「ヤ。/○ イヤ」ー。
60. いいえ      ○ イー「エ。
61. いや (否定問いかけに対する応答)      ①○ イ「ヤ」フツ「タ」ヨ。  
②○ 「ウ」ン」フ「レ」ヘンカッ「タ。
62. どういたしまして      ○ 「イ」ー「エ」ー 「ドーイタシマシ」テ。  
○ ナニオ 「オッシャイマス」ヤラ。

#### V 不可能の表現

63. できない      ○ 「ソナ コ」ト ワタシワ 「ヨー セン」ワ。  
《対応する可能表現》○ 「ソラ デキル」ヤロ。(自信があるとき)  
○ 「ソラ デ」ケヘン コト ナイ「ケ」ド 「ナ。(自信  
がないとき)
64. 読むことができない (状況)      ○ ク「ロ」ーテ シンプ「ン」ヨ「マ」レヘン。  
《対応する可能表現》○ 「ク」ライケド ナ「ン」トカ ヨメ「ル。
65. 読むことができない (能力)      ○ マダ 「ショーガ」クセーヤサカイ シンプン  
「ヨー」ヨマン。  
《対応する可能表現》○ 「ショーガ」クセー「デ」モ ヨメ「ル。

\* 状況可能と能力可能とは、否定の場合、「ヨー〜」と「〜レヘン」とによって

使い分けられているが、肯定の場合は使い分けがないように思われる。

66. 出られない (心理的状況) ○「コンナ ハデ」ナ フ」ク キテ 「マ」チ 「  
ヨー イカン。  
67. 食べられない ○「コノ キ」ノコ タベ「ラ」レヘン。  
68. 食べることができない ○「イソガシ」ーテ 「ヒ」ルモ タベ「ラ」レヘン。

#### VI 反語・反発の表現

69. 知るものか ○「ソナナ コ」ト ワタシガ 「シル」カ。  
70. 誰が行くものか ○「ソナナ ト」コ 「ダレガ イク」カ。  
71. なんで行くか ○「ソナナ ト」コ ナンデ 「イカ」ン「ナ」ラン」ネン。  
72. なんで恥ずかしいものか ○ ナンデ 「ハズカ」シー」ネン。  
73. 行かないでおるものか (行くとも!) ○「ゼツタイ イク。<反語の言い方は得  
られず>  
○「イカ」イデカ。(聞くが言わない)  
74. やれるか ○「ソナナ モ」ン オマエニ ヤレル」カ。  
\*反語形の「～モンカ」はあまり言わないようである。  
75. シテイラン 言う。○「ソナイ イヤ」ヤッ「タ」ラ 「シテイラン」。  
○「コーテ モー」エ「ー。(「買ってもらわなくてもよい」の意。  
商売人が使う。)

#### VII 特定の副詞の関わる否定表現 (付. 否定形式の見られる特定副詞)

76. 少しもはかどらない ○ア「ツ」ーテ {①イッ「コ」モ 「スス」メヘン。(多)  
②チョッ「ト」モ (稀)  
77. ぜんぜんできていない ○「シゴトガ」イッ「コ」モ 「デキテ」ヘン。  
78. いっこうに降らない ○ア「メ」イッ「コ」モ フ「レ」ヘン。  
79. あまり降らない ○「コトシ」モ ア「メ」ガ 「アンマシ」フ「レ」ヘン  
80. (予想外に) たくさん ①○「オ」モタヨリ 「ヨ」ーケ ト「レ」タ。②いずれ  
も言わない

#### VII その他否定形式の関わる諸表現

81. いいではないか ○「ワザワザ イカンド」モ {①エ「ー」ヤン カ。(多)  
②エ「ー」ヤン。(若い人)}  
82. いいのではないか 言う。○「ワザワザ イカンド」モ ①エ「ー」ノ 「チャウ」。  
②エ「ー」ノン  
83. いいかもしれない ○「ワザワザ イカンド」モ エ「ー」カモ 「シレン」。

84. 行かないか   ○ イッショニ {①「イ」ケヘ「ン」。②「イ」ケヘン「カ」。(ぞんざいな感じ)}
85. くないか   ○ 「コレ」モッテ「ク」レヘ「ン」。
86. くれませんか   ○ 「コレ」モッテ「クレマセン」カ。
87. 下さいませんか   ○ 「コレ」モッテ「クレハリマセン」カ。
88. 行かないと(～行けば)   ○ ハヨ「イカント」。(柔らかい勧め)  
○ ハヨ「イッ」タ「ラ」。(やや皮肉を込めた感じ)

### Ⅲ. 総括(まとめ)

総括というほどではないが、調査の結果気付いた点を挙げてみる。

- ・当方言における動詞の代表的な否定の形式は、「～ヘン」である。これはもともと「～はせん」から転じたものと言われ、係助詞「は」を含んでいることから強めの表現であったと考えられるが、現在の話者にその意識はほとんどないと言ってよい。調査項目の中に「は」の有無による使い分けを引き出すもの(6と7、13と14)があるが、両項目の表現に差はなく、むしろ「～ン」(「降らん」「来ん」などの言い方)の方がぞんざいで強く響くように思われる。
- ・古くから京阪間などで話題にされる、五段動詞の否定形式が「ア段+ヘン」か「エ段+ヘン」かという点(「イカヘン」か「イケヘン」か)に着目すると、本調査の場合、後者が優勢であった。しかし、実際の言語生活では前者の言い方もよく聞かれ、大阪は後者であると言い切るのは早計であろう。個人差、場面差、語彙差の大きい、まさに「ゆれている」表現形式であるというのが現時点での妥当な結論であるように思われる。
- ・形容詞の代表的な否定の形式は「形容詞の語幹+ナイ」である。現在の大阪方言において「ウ音便形+ナイ」(「アツーナイ」など)という言い方は、もはや60代でもほとんど使われることがなく、同様の傾向は、形容詞型活用をする助動詞にも当てはまる。(「食べたくない」は「タベトーナイ」ではなく「タベタナイ」が普通)また、「形容詞連体形+コトナイ」という言い方も盛んであるが、前掲の形式との明確な使い分けの意識はなさそうである。

(かぶらぎ まさひろ・大阪教育大学教育学部附属高等学校平野校舎)